

2015年全国高校駅伝競走大会東京都予選会戦前予想

(女子の部)

今年度も「八王子」「順天」の優勝争いと思われる。現在3連覇中の八王子。昨年度から安定した力を発揮している石川、徐々に調子を戻している今泉の3年生に加えて1年生の前田梅、甲本が着実に力をつけている。ここに小汲、山名を加えた選手層から見ても優勝候補の筆頭であろう。本番に調子を合わせてくる力は抜けているものがあり、4連覇に期待がかかる。一方、順天はインターハイ 1500m 8位入賞の平賀に加え、3年生の佐藤、加藤、山口、後藤と、力のある選手を擁している。ここに、2年生の和田、1年生の伊東を加え、実力的には八王子に引けを取らない。1区で先行し4年ぶりの都大路奪回をしたいところである。この2校の力は互角と考える。

今年はこの2校に迫る勢いなのが「東京」である。9月に開催されたしらかわ駅伝では両校を抑え4位入賞を果たした。3年生の宮田、金杉、山本が安定した力を発揮しており、ここに若菜、揚原を加えたメンバーで、17年間続いている八王子と順天の1位2位独占の状況に一矢報いたいところである。展開次第では両校に迫る力を持っている。この3校がリードしていく展開が予想される。

この3校に続くのが「錦城学園」「城西大城西」であろう。錦城学園は3年生の原子、2年生の持丸の両エースが安定している。さらに3000mを10分一桁前後で走る選手をそろえることができ、好タイムが予想される。城西大城西もエース小林を筆頭に着実に走る選手が揃っており、入賞ラインには確実に入ってくると思われる。

この5校に続くのが「早稲田実業」「都上水」「日体荏原」の3校か。この3校は長い区間の走りが勝負を左右してくるものと思われる。昨年度も1区で6位までに入った学校が最終的に関東大会出場権を手に入れているため、今年度も1、2区での順位が総合順位に大きくかかわってくるであろう。6位入賞のラインは1時間15分前半になるものと思われる。このほか、「都若葉総合」、「国士舘」、「駒大高校」にも期待したい。

全国高校総体終了後、都大路の舞台に立つことを目標に夏の合宿などを経て積み上げてきた成果を各校とも最後まで発揮し、あきらめない粘り強い走りを期待している。